

新潟市  
子ども・子育て支援ニーズ調査  
報告書

平成 26 年 3 月  
新潟県 新潟市

# 目 次

## 第1部 調査の実施概要と調査結果のまとめ

第1章 調査実施の概要	5
1 調査の目的	5
2 調査の設計	5
(1) 調査票の種類と調査対象者等	5
3 調査の実施方法と配布・回収状況	6
(1) 調査時期と調査方法	6
(2) 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度	6
4 報告書の見方について	8
(1) 年齢・学年の定義	8
(2) 電算処理の注意点	8
(3) 人口推計の活用について	8
(4) グラフの見方について	8
5 調査対象者の属性・家族状況	9
(1) 就学前児童の属性	9
(2) 小学校児童の属性	9
(3) 居住地域の状況	10
(4) 調査回答者の状況と配偶者有無	13
第2章 調査結果のまとめ	17
1 子ども人口の推移と推計	17
(1) 市全域と地区別から見た子ども人口の推移と推計	17
(2) 地域別から見た子ども人口の推移と推計	17
2 地域別の調査結果状況	20

## 第2部 市全域の調査結果

第1章 子育て家庭を取り巻く環境	33
1 子育ての環境について	33
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	33
2 保護者の就労状況	34
(1) 父親の就労状況	34
(1) 母親の就労状況	39
第2章 子育て支援サービス等の現状と今後の希望等	47
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望	47
(1) 平日の定期的な教育・保育事業（全体）	47
(2) 幼稚園	50
(3) 幼稚園の預かり保育	53
(4) 保育園	56
(5) 認定こども園	59
(6) 認可外保育施設	62
(7) 事業所内保育施設	65

(8) 休日の教育・保育事業の利用意向	68
(9) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ	71
2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向	76
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用について	76
(2) 不定期の一時保育の利用について	79
(3) 宿泊を伴う一時保育の利用について	83
3 放課後の過ごし方について	86
(1) 平日の放課後の過ごし方について	86
(2) 土曜・休日の放課後児童クラブ利用について	92
(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について	95

第3章 育児休業制度の利用状況	99
1 育児休業制度の利用状況	99
2 地域の子育て支援の環境や支援への満足度	105
第4章 預かり保育実施園就園児保護者の就労状況等	109
1 預かり保育実施園就園児の状況	109
2 保護者の就労状況	111
(1) 父親の就労状況	111
(2) 母親の就労状況	113
3 幼稚園における「預かり保育」の利用状況	115
4 利用している「他保育事業」	116

## 第3部 地域別の調査結果

第1章 地域別の子育て家庭を取り巻く環境	123
1 子育ての環境について	123
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	123
2 保護者の就労状況	129
(1) 父親の就労状況	129
(2) 母親の就労状況	156
第2章 子育て支援サービスの現状と今後の希望等	187
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望	187
(1) 平日の定期的な教育・保育事業（全体）	187
(2) 休日の教育・保育事業の利用意向	245
(2) 不定期の一時保育の利用について	259
(3) 宿泊を伴う一時保育の利用について	284
3 放課後の過ごし方について	316
(1) 平日の放課後の過ごし方について	316
(2) 土曜・休日の放課後児童クラブ利用について	353
(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について	379
第3章 育児休業制度の利用状況	395
1 育児休業制度の利用状況	395
2 地域の子育て支援の環境や支援への満足度	431

## 資料編

- 「新潟市子ども・子育て支援ニーズ調査票」の見本
- 「幼稚園の預かり保育にかかるアンケート調査票」の見本

## 第 1 部

調査実施の概要と  
調査結果のまとめ

第1章  
調査実施の概要

## 第1章 調査実施の概要

### 1 調査の目的

平成24年8月に、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする「子ども・子育て支援法」が成立し、新しい「子ども・子育て支援制度」が施行されます。新しい制度では、新潟市も他自治体と同様に子ども・子育て支援法の基本理念や、子ども・子育ての意義を踏まえて、今後5年間の事業計画を作成することになりました。

このような状況により、事業計画の策定に必要な情報を得るため、子育て家庭ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的としたアンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

### 2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、3種類の調査票の趣旨は次のとおりです。

#### (1) 調査票の種類と調査対象者等

調査対象者別の調査内容は、以下のとおりです。

図表 1.1 調査の実施方法

①調査票「子ども・子育て支援ニーズ調査（就学前児童用）」	
調査対象者	就学前児童を持つ保護者
調査件数	6,000人
調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現状・利用意向、地域の子育て事業の現状・利用意向、育児休業の現状・利用意向に関する設問
②調査票「子ども・子育て支援ニーズ調査（小学生用）」	
調査対象者	小学校児童を持つ保護者
調査件数	6,000人
調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、放課後の過ごし方に対する希望に関する設問
③調査票「幼稚園の預かり保育にかかるアンケート調査」	
調査対象者	預かり保育を実施している幼稚園就園児を持つ保護者
調査件数	5,067人
調査内容	保護者の就労状況、幼稚園における預かり保育の利用状況、定期的な教育・保育事業の利用状況に関する設問

## 3 調査の実施方法と配布・回収状況

### (1) 調査時期と調査方法

子ども・子育て支援ニーズ調査は、平成25年10月28日～11月25日にかけて実施しました。（当初11月15日を締切としていましたが、延長しました。）

「就学前児童の保護者」に対する調査は、郵送方式により調査票を配布・回収しました。「小学校児童の保護者」に対する調査も、郵送方式により調査票を配布・回収しました。

また、幼稚園就園児の保護者に対する調査は、平成25年8月6日～10月25日にかけて、幼稚園を通して調査票を配布・回収しました。

### (2) 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおりです。

図表 1.2 調査票の配布・回収状況

区分	就学前児童の保護者			小学校児童の保護者		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
市全域	6,000人	3,353人	55.9%	6,000人	3,323人	55.4%
北区	750	379	50.5	750	408	54.4
東区	750	427	56.9	750	440	58.7
中央区	750	446	59.5	750	428	57.1
江南区	750	427	56.9	750	379	50.5
秋葉区	750	454	60.5	750	422	56.3
南区	750	380	50.7	750	383	51.1
西区	750	440	58.7	750	436	58.1
西蒲区	750	400	53.3	750	427	56.9
無回答	—	—	—	—	—	—

図表 1.3 調査票の配布・回収状況

区分	幼稚園就園児の保護者		
	配布数	回収数	回収率
市全域	5,841人	5,067人	86.7%

図表 1.4 調査の信頼度

区 分	就学前児童の保護者			小学校児童の保護者		
	対象者数	回収数	必要 サンプル	対象者数	回収数	必要 サンプル
市全域	38,940人	3,353人	380人	40,983人	3,323人	381人
北区	3,631	379	347	4,035	408	351
東区	6,847	427	364	7,230	440	365
中央区	8,599	446	368	8,371	428	367
江南区	3,666	427	348	3,862	379	349
秋葉区	3,694	454	348	4,212	422	352
南区	2,153	380	326	2,250	383	328
西区	7,915	440	366	8,139	436	367
西蒲区	2,435	400	332	2,884	427	339

■社会調査信頼度 95%の計算式

$$n = \frac{N}{\left(\frac{E}{k}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

- ※n：サンプル数
- N：全体の人数（母集団）
- E：許容できる誤差の範囲
- P：母比率 = 0.5（50%のときに最大のサンプル数となるため）
- k：信頼度係数 = 1.96（通常、信頼度 95%を基準とするため）

## 4 報告書の見方について

国資料は「就学前児童」と「就学児童」の名称を使用していますが、この報告書では違いを明確にするため、「就学児童」を「小学校児童」と表記しています。

### (1) 年齢・学年の定義

就学前児童・小学校児童の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

図表 1.5 アンケート調査における年齢・学年定義

年齢区分	該当する生年月日	年齢区分	該当する生年月日
0歳児	平成24年4月以降	6歳児	平成18年4月～平成19年3月
1歳児	平成23年4月～平成24年3月	7歳児	平成17年4月～平成18年3月
2歳児	平成22年4月～平成23年3月	8歳児	平成16年4月～平成17年3月
3歳児	平成21年4月～平成22年3月	9歳児	平成15年4月～平成16年3月
4歳児	平成20年4月～平成21年3月	10歳児	平成14年4月～平成15年3月
5歳児	平成19年4月～平成20年3月	11歳児	平成13年4月～平成14年3月

(注) 調査期間【平成25年度】における年齢定義

### (2) 電算処理の注意点

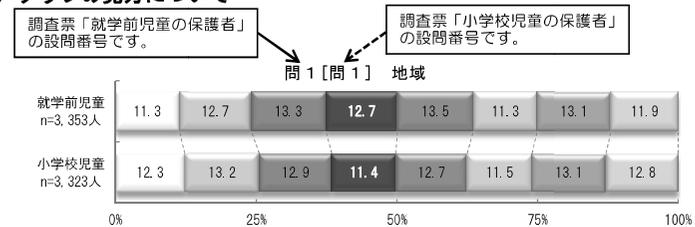
調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

### (3) 人口推計の活用について

この報告書で使用する人口推計は、「コーホート変化率法」を用いて算出します。

「コーホート」とは、同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団のことを指し、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき人口推計を行っています。

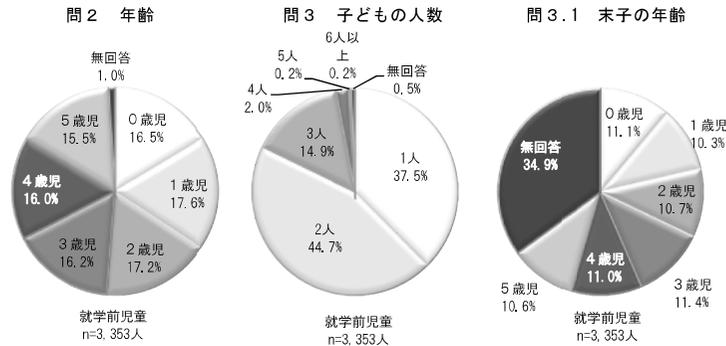
### (4) グラフの見方について



## 5 調査対象者の属性・家族状況

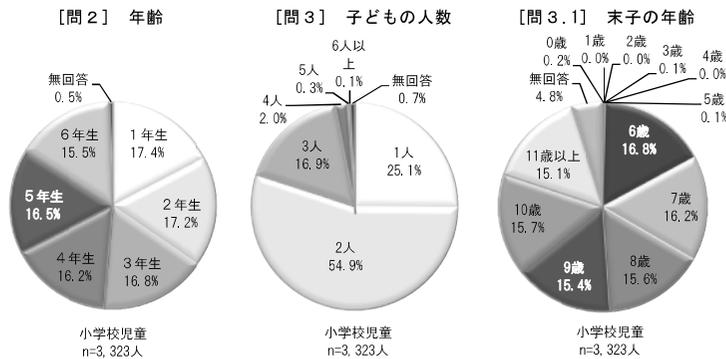
### (1) 就学前児童の属性

回答された3,353人の就学前児童の属性は、以下のとおりです。



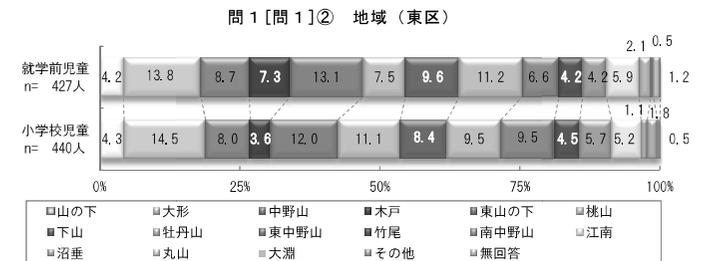
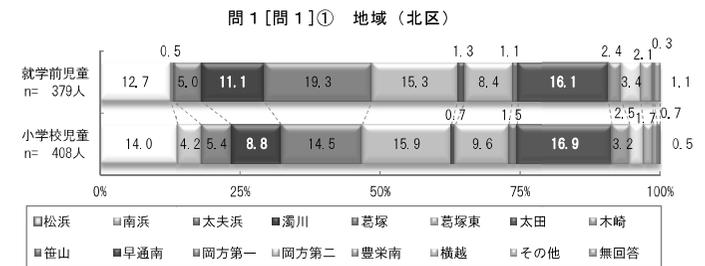
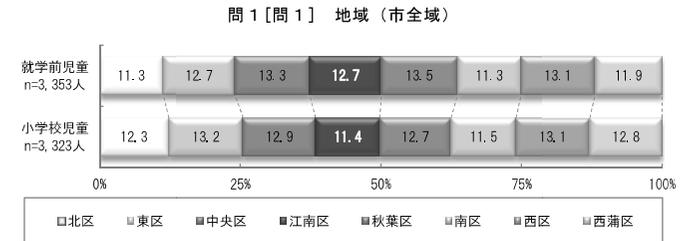
### (2) 小学校児童の属性

回答された3,323人の小学校児童の属性は、以下のとおりです。

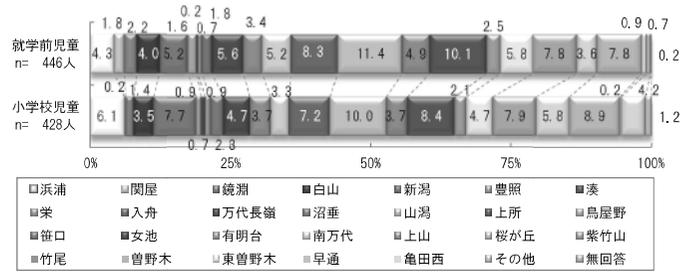


### (3) 居住地域の状況

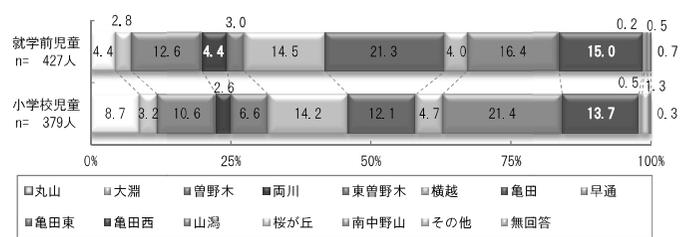
回答者が居住している地域の状況は、以下のとおりです。



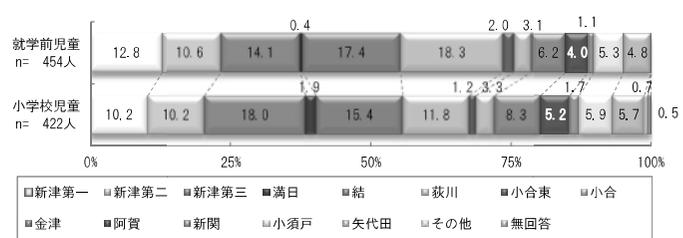
問1[問1]③ 地域（中央区）



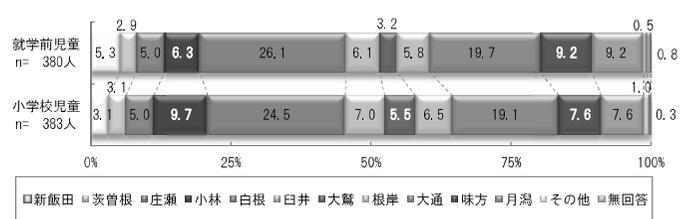
問1[問1]④ 地域（江南区）



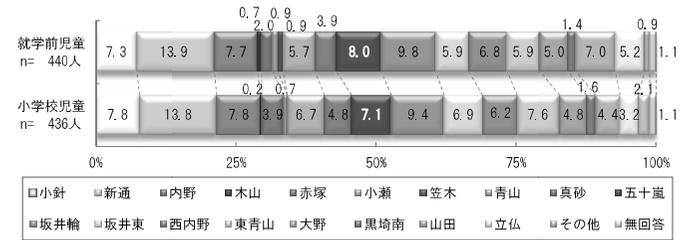
問1[問1]⑤ 地域（秋葉区）



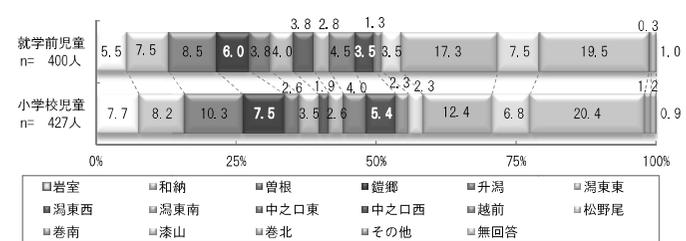
問1[問1]⑥ 地域（南区）



問1[問1]⑦ 地域（西区）



問1[問1]⑧ 地域（西蒲区）



(4) 調査回答者の状況と配偶者有無

この調査に回答者は、次のとおりです。

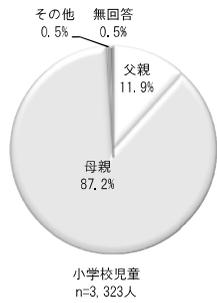
問4 調査回答者（就学前児童）



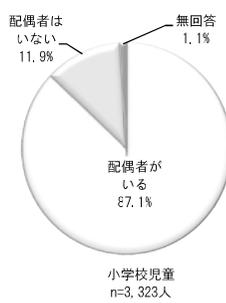
問5 配偶者の有無（就学前児童）



[問4] 調査回答者（小学校児童）



[問5] 配偶者の有無（小学校児童）



**第2章  
調査結果のまとめ**

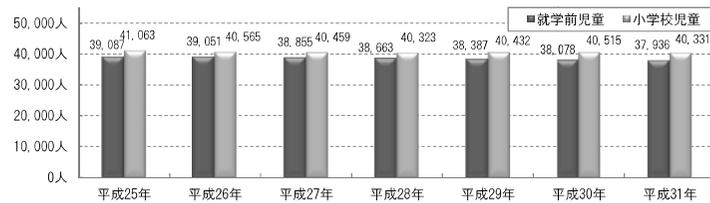
## 第2章 調査結果のまとめ

### 1 子ども人口の推移と推計

#### (1) 市全域と地区別から見た子ども人口の推移と推計

子ども人口は、毎年1～2%程度緩やかに減少していくことが見込まれます。平成25年の就学前児童数39,087人と小学校児童数41,063人が、平成31年までの6年間に2～3%程度減少し、未就学児童で37,936人、小学校児童で40,331人になることが見込まれます。その傾向は未就学児童で顕著に表れており、小学校児童の減少率を1.2ポイント上回っています。

図表 1.6 子ども人口の推移と推計（市全域）



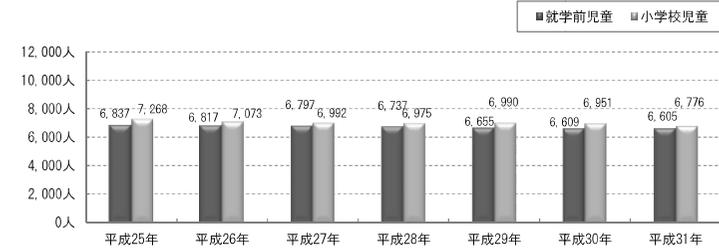
#### (2) 地域別から見た子ども人口の推移と推計

未就学児童数の減少率の高い地域としては、西蒲区(10.2%)、南区(7.6%)、北区(7.5%)の減少率となっています。一方、小学校児童数では西蒲区(13.7%)、東区(6.8%)、南区(5.8%)の減少率となっています。

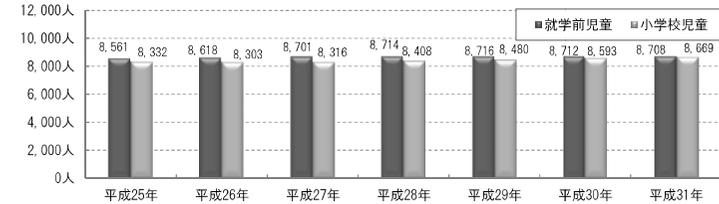
図表 1.6.1 子ども人口の推移と推計（北区）



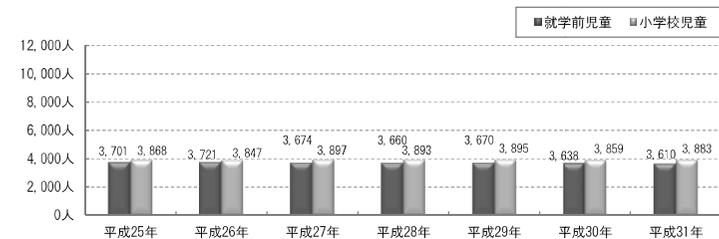
図表 1.6.2 子ども人口の推移と推計（東区）



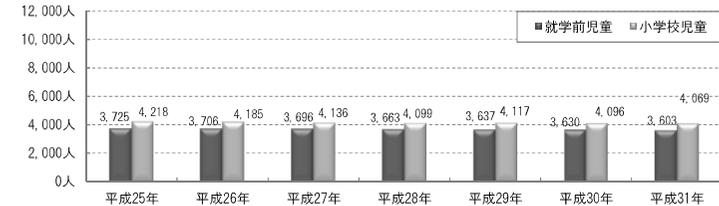
図表 1.6.3 子ども人口の推移と推計（中央区）



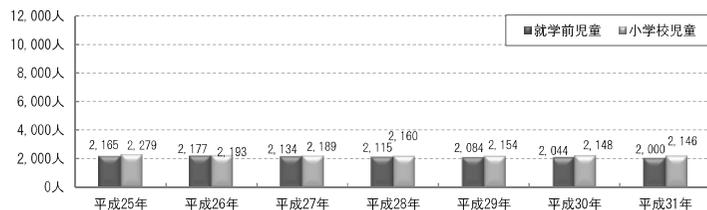
図表 1.6.4 子ども人口の推移と推計（江南区）



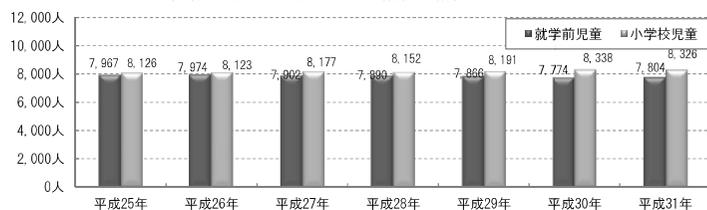
図表 1.6.5 子ども人口の推移と推計（秋葉区）



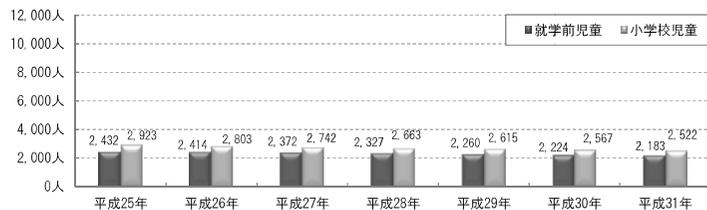
図表 1.6.6 子ども人口の推移と推計（南区）



図表 1.6.7 子ども人口の推移と推計（西区）



図表 1.6.8 子ども人口の推移と推計（西蒲区）



## 2 地域別の調査結果状況

子ども・子育て支援ニーズ調査の各区別の調査結果のまとめは次のとおりです。

### ①北区

項目	調査結果状況
子育て家庭環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主な保育者として「主に母親」の割合が就学前児童（43.3%）で他地域に比べて2番目に低く、小学校児童（42.4%）で2番目に高い状況です。</li> <li>○主な親族等協力者として「いずれもない」（9.5%）が市平均値（11.2%）より低い状況です。</li> </ul>
母親の就労状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学前児童の母親はフルタイム（39.6%）で他地域に比べて2番目に高く、パートタイム（35.3%）で他地域に比べて3番目に高い状況です。</li> <li>○小学校児童の母親はフルタイム（36.0%）で市平均値（36.7%）よりやや低く、パートタイム（46.3%）で他地域に比べて2番目に高い状況です。</li> </ul>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な教育・保育事業の利用割合は73.9%で他地域に比べて最も多い状況です。</li> <li>○「幼稚園」（11.1%）は市平均値（13.9%）よりやや低く、「幼稚園の預かり保育」（0.4%）は他地域に比べて最も低く、「認可保育所」（51.4%）は他地域に比べて3番目に低い状況です。</li> <li>○「認定こども園」（1.8%）は市平均値（2.6%）よりやや低い状況です。</li> <li>○利用率（現状）から希望率（今後）の伸び率をみると、「幼稚園の預かり保育」（12.4%）、「幼稚園」（10.8%）、「認定こども園」「ファミリー・サポート・センター」「事業所内保育施設」（各7.4%）の順に増加しています。</li> </ul>
居住地域における子育て環境や満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○回答者の平均評価は就学前児童（2.76）、小学校児童（2.84）で市平均値（就学前児童2.87、小学校児童2.89）をともに下回っています。</li> </ul>

## ②東区

項目	調査結果状況
子育て家庭環境	<p>○主な保育者として「主に母親」の割合が就学前児童（45.9%）で市平均値（46.5%）よりやや低く、小学校児童（38.9%）で市平均値（39.4%）よりやや低い状況です。</p> <p>○主な親族等協力者として「いずれもない」（15.0%）が他地域に比べて2番目に高い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童の母親はフルタイム（30.0%）で他地域に比べて最も低く、パートタイム（34.6%）で市平均値（32.9%）より高い状況です。</p> <p>○小学校児童の母親はフルタイム（32.5%）で他地域に比べて3番目に低く、パートタイム（45.9%）で他地域に比べて3番目に高い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は70.7%で市平均値（71.0%）よりやや低い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（15.9%）は市平均値（13.9%）よりやや高く、「幼稚園の預かり保育」（3.6%）は他地域に比べて3番目に高く、「認可保育所」（54.0%）は市平均値（54.2%）よりやや低い状況です。</p> <p>○「認定こども園」（5.6%）は他地域に比べて最も高い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の伸び率をみると、「認可保育所」（15.2%）、「幼稚園の預かり保育」（14.3%）、「幼稚園」（11.7%）、「認定こども園」（10.1%）の順に増加しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価は就学前児童（2.87）で市平均値（2.87）と同数値、小学校児童（2.86）で市平均値（2.89）をやや下回っています。</p>

## ③中央区

項目	調査結果状況
子育て家庭環境	<p>○主な保育者として「主に母親」の割合が就学前児童（50.7%）、小学校児童（44.4%）ともに、他地域に比べて最も高い状況です。</p> <p>○主な親族等協力者として「いずれもない」（20.4%）が他地域に比べて最も高い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童の母親はフルタイム（31.8%）で他地域に比べて2番目に低く、パートタイム（26.0%）で他地域に比べて最も低い状況です。</p> <p>○小学校児童の母親はフルタイム（31.5%）で他地域に比べて2番目に低く、パートタイム（40.4%）で他地域に比べて3番目に低い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は、69.5%で他地域に比べて2番目に低い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（21.9%）は他地域に比べて最も高く、「幼稚園の預かり保育」（4.5%）は他地域に比べて2番目に多く、「認可保育所」（39.0%）は他地域と比べて最も低い状況です。</p> <p>○「認定こども園」（4.8%）は他地域と比べて3番目に高い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の伸び率をみると、「幼稚園の預かり保育」（14.3%）、「幼稚園」（13.9%）、「認定こども園」（12.6%）、「認可保育所」（9.2%）の順に増加しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価は就学前児童（2.89）、小学校児童（2.90）で市平均値（就学前児童2.87、小学校児童2.89）をともに上回っています。</p>

## ④江南区

項目	調査結果状況
子育て家庭環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主な保育者として「主に母親」の割合が就学前児童（47.5%）で市平均値（46.5%）よりやや高く、小学校児童（36.9%）で他地域に比べて2番目に低い状況です。</li> <li>○主な親族等協力者として「いずれもない」（11.5%）が平均値（11.2%）よりやや高い状況です。</li> </ul>
母親の就労状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学前児童の母親はフルタイム（37.3%）で市平均値（36.4%）よりやや高く、パートタイム（38.2%）で他地域に比べて最も高い状況です。</li> <li>○小学校児童の母親はフルタイム（34.8%）で市平均値（36.7）よりやや低く、パートタイム（49.3%）で他地域に比べて最も高い状況です。</li> </ul>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な教育・保育事業の利用割合は73.5%で他地域に比べて2番目に高い状況です。</li> <li>○「幼稚園」（10.5%）は他地域と比べて3番目に低く、「幼稚園の預かり保育」（1.3%）は他地域と比べて3番目に低く、「認可保育所」（60.8%）は他地域に比べて2番目に高い状況です。</li> <li>○「認定こども園」（0.6%）は他地域に比べて2番目に低い状況です。</li> <li>○利用率（現状）から希望率（今後）の伸び率をみると、「認可保育所」（12.6%）、「認定こども園」（9.8%）、「幼稚園」（9.1%）、「幼稚園の預かり保育」（8.7%）の順に増加しています。</li> </ul>
居住地域における子育て環境や満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○回答者の平均評価は就学前児童（2.85）で、市平均値（2.87）をやや下回り、小学校児童（2.89）で市平均値（2.89）と同数値となっています。</li> </ul>

## ⑤秋葉区

項目	調査結果状況
子育て家庭環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主な保育者として「主に母親」の割合が就学前児童（47.8%）で他地域に比べて3番目に高く、小学校児童（38.4%）で他地域に比べて3番目に低い状況です。</li> <li>○主な親族等協力者として「いずれもない」（8.8%）が他地域に比べて3番目に低い状況です。</li> </ul>
母親の就労状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学前児童の母親はフルタイム（36.8%）で他地域に比べて3番目に低く、パートタイム（30.0%）でも他地域に比べて3番目に低い状況です。</li> <li>○小学校児童の母親はフルタイム（36.7%）で他地域に比べて3番目に高く、パートタイム（43.6%）で市平均値（43.1%）よりやや高い状況です。</li> </ul>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な教育・保育事業の利用割合は68.1%で他地域に比べて最も低い状況です。</li> <li>○「幼稚園」（16.2%）は他地域と比べて3番目に高く、「幼稚園の預かり保育」（1.3%）は市平均値（2.5%）よりやや低く、「認可保育所」（54.7%）は市平均値（54.2%）よりやや高い状況です。</li> <li>○「認定こども園」は利用者がいない状況です。</li> <li>○利用率（現状）から希望率（今後）の伸び率をみると、「幼稚園の預かり保育」（13.2%）、「認可保育所」（12.3%）、「幼稚園」（9.5%）、「認定こども園」「ファミリー・サポート・センター」（各8.8%）の順に増加しています。</li> </ul>
居住地域における子育て環境や満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○回答者の平均評価は就学前児童（2.87）で市平均値（2.87）と同数値、小学校児童（2.91）で市平均値（2.89）をやや上回っています。</li> </ul>

## ⑥南区

項目	調査結果状況
子育て家庭環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主な保育者として「主に母親」の割合が就学前児童（44.7%）で他地域に比べて3番目に少なく、小学校児童（38.6%）で市平均値（39.4%）よりやや低い状況です。</li> <li>○主な親族等協力者として「いずれもない」（6.6%）が他地域に比べて2番目に低い状況です。</li> </ul>
母親の就労状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学前児童の母親はフルタイム（40.6%）で他地域に比べて最も高く、パートタイム（36.9%）で他地域に比べて2番目に高い状況です。</li> <li>○小学校児童の母親はフルタイム（43.6%）で他地域に比べて2番目に高く、パートタイム（38.4%）で他地域に比べて2番目に低い状況です。</li> </ul>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な教育・保育事業の利用割合は71.8%で他地域に比べて3番目に多い状況です。</li> <li>○「幼稚園」（5.1%）は他地域と比べて最も低く、「幼稚園の預かり保育」（1.1%）は他地域と比べて2番目に低く、「認可保育所」（70.7%）は他地域と比べて最も高い状況です。</li> <li>○「認定こども園」（1.8%）は市平均値（2.6%）よりやや低い状況です。</li> <li>○利用率（現状）から希望率（今後）の伸び率をみると、「認定こども園」（10.5%）、「認可保育所」（8.7%）、「事業所内保育施設」（7.9%）「幼稚園」「ファミリー・サポート・センター」（各7.6%）の順に増加しています。</li> </ul>
居住地域における子育て環境や満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○回答者の平均評価は就学前児童（3.00）で市平均値（2.87）を上回り、小学校児童（2.78）で市平均値（2.87）をやや下回っています。</li> </ul>

## ⑦西区

項目	調査結果状況
子育て家庭環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主な保育者として「主に母親」の割合が就学前児童（48.0%）で他地域に比べて2番目に高く、小学校児童（39.0%）で他地域に比べて3番目に高い状況です。</li> <li>○主な親族等協力者として「いずれもない」（11.6%）が他地域に比べて3番目に高い状況です。</li> </ul>
母親の就労状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学前児童の母親はフルタイム（38.4%）で他地域に比べて3番目に高く、パートタイム（28.6%）で他地域に比べて2番目に低い状況です。</li> <li>○小学校児童の母親はフルタイム（29.8%）で他地域に比べて最も低く、パートタイム（45.9%）で市平均値（43.0%）より高い状況です。</li> </ul>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な教育・保育事業の利用割合は70.2%で他地域に比べて3番目に低い状況です。</li> <li>○「幼稚園」（19.4%）は他地域に比べて2番目に高く、「幼稚園の預かり保育」（5.8%）は他地域に比べて最も高く、「認可保育所」（45.3%）は他地域に比べて2番目に低い状況です。</li> <li>○「認定こども園」（4.9%）は他地域に比べて2番目に高い状況です。</li> <li>○利用率（現状）から希望率（今後）の伸び率をみると、「幼稚園の預かり保育」（13.9%）、「認可保育所」（12.0%）、「幼稚園」（11.6%）、「認定こども園」（10.7%）の順に増加しています。</li> </ul>
居住地域における子育て環境や満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○回答者の平均評価は就学前児童（2.85）で市平均値（2.87）をやや下回り、小学校児童（2.99）で市平均値（2.89）をやや上回っています。</li> </ul>

## ⑨西蒲区

項目	調査結果状況
子育て家庭環境	<p>○主な保育者として「主に母親」の割合が就学前児童（43.0%）で他地域に比べて最も少なく、小学校児童（36.1%）で他地域に比べて最も低い状況です。</p> <p>○主な親族等協力者として「いずれもない」（5.0%）が他地域に比べて最も低い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童の母親はフルタイム（38.0%）で市平均値（36.4%）よりやや高く、パートタイム（35.0%）で市平均値（32.9%）より高い状況です。</p> <p>○小学校児童の母親はフルタイム（49.4%）で他地域に比べて最も高く、パートタイム（34.6%）では他地域に比べて最も低い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は 71.3%で市平均値（71.0%）よりやや高い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（9.5%）は他地域に比べて2番目に低く、「幼稚園の預かり保育」（1.8%）は市平均値（2.5%）よりやや低く、「認可保育所」（59.3%）は他地域と比べて3番目に高い状況です。</p> <p>○「認定こども園」（1.1%）は市平均値（2.6%）より低い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の伸び率をみると、「認可保育所」（11.8%）、「認定こども園」（10.8%）、「幼稚園」（9.5%）、「幼稚園の預かり保育」（6.5%）の順に増加しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価は就学前児童（2.84）で市平均値（2.87）をやや下回り、小学校児童（2.91）で市平均値（2.89）をやや上回っています。</p>